

平成 30 年度 第 3 回学校運営協議会（議事録）

開催日時：平成 31 年 3 月 5 日（火） 15 時～

出席委員：池田委員、福島委員、露木委員、嶋村委員、瀬谷委員、堀井委員、土田委員

<全体会>

○校長挨拶

- ・修学旅行、高校入学者選抜、卒業式は無事に終わることができた。
- ・3 年生の受験については一定の成果を上げた。
- ・来年度「公共」の指定校で、「総合的な探究の時間」が始まる。
- ・グランドデザインを変更した。新しい時代の学力をどのように身につけるか、人間力・規範意識を特に育てていきたい。

○平成 31 年度入学者選抜概要

別紙の通り。競争倍率は 1.37 倍。無事終わることができた。



<各部会>

地域連携部会

開催日：平成 31 年 3 月 5 日（火）

時間：15 時 10 分～16 時

場所：深沢高等学校応接室

司会：村山総括教諭

出席委員：池田委員、嶋村委員、瀬谷委員、堀井委員

○ テレビ視聴（8月に実施された本校での宿泊防災訓練の様子を取材した3分ほどのNHKニュース）

○ 各Gから

生活指導G

- ・近隣からの登下校マナーに関する指摘が多く苦慮している。教育相談は増えている。
- ・新入生に対し、交通マナーなどの徹底が課題である。

学校管理運営G

- ・防災関係では1学期末と3月11日に避難訓練を実施する。
- ・宿泊防災訓練、HUGについては好評であり、今後も継続していく。
- ・卒業式は整然と行うことができた。

地域連携G

- ・ボランティア委員会は園児との交流を続けている。
- ・中学校での出前授業も継続し好評を得ている。

生徒会支援G

- ・文化祭では地域の方も多く来場していただいたのでアピールの場としていきたい。

○ 質問・意見等

- ・教育相談の件数が増加しているのは相談できる環境があることなのでよい傾向である。
- ・スクールカウンセラーが有効に働いていると感じる。
- ・HUGはぜひ継続して行ってほしい。
- ・深沢高校は補助避難所なので、地域の他の避難所との連携も考えてほしい。
- ・下校マナー指導では、生徒が積極的に「あいさつ」をすることで印象を変えられるのではないか。
- ・NHKの映像はとても良い。評価が上がる。
- ・鎌倉4校によるダンス部の発表は、地域活性化として評価できる。
- ・成年年齢引き下げに関して、市役所関係課や市議会でも話題となっている。
- ・地域を活用して消費者教育など行えるとよい。

以上

キャリア部会

開催日：平成31年3月5日（火）

時間：15時10分～16時

場所：深沢高等学校会議室

司会：北澤総括教諭

出席委員：福島委員、露木委員、土田委員、石川委員

○平成 30 年度卒業生進路状況

- ・大学進学は減少し、専門学校が増加した。
- ・一般受験の合格者数は減少、大学の合格者数削減の影響。
- ・センター試験受験者減少。
- ・一般受験の合格者の延人数は増加した。例年通り神奈川大学等の地元志向が強い。
- ・短期大学、専門学校について。

意見

- ・文科省からの大学への強い指導が顕著に表れているので大学入試も厳しくなった。
- ・来年度以降に学校としてどのよな対応をするか、工夫改善を期待したい。
- ・学校の努力、バックアップは十分できていたか気になる。3年生には、一般入試で勝負できるようしっかり学習して力を付けて欲しい。
- ・学年カラーが真面目でおとなしいイメージがある。塾頼みではなく、学校の学習をしっかりさせることと、受験指導等に積極的に対応して欲しい。

○生徒による授業評価

- ・家庭学習の時間数から、生徒が学習に意欲的に取り組んでいるかどうかかわかると思う。
- ・教科間にばらつきはあるが、概ね3.0以上評価（概ね満足）である。

意見

- ・地歴、国語の話し合いの評価が低い。
- ・授業研究プロジェクトの活動を中心に改善を図って欲しい。

○授業改善の取組み

- ・研究テーマを模造紙に貼り共有した。「振り返り」を中心にした研究授業を実施した。
- ・指導案「世界史B」を説明。次年度につなげていく。

意見

- ・PTAはこのような取組みをしている事を知らなかったが、子どもたちのため続けて欲しい。
- ・職員の積極的な研究、研修は非常に大切である。
- ・学校全体で取組む姿勢は評価する。継続して欲しい。

○シチズンシップ教育「公共」の指定

- ・現代社会に代わる新科目である。
- ・現在行っている模擬授業、模擬裁判を題材にする。
- ・具体的な計画、実践については、来年度報告する。

意見

- ・新しい科目「公共」を先導するようしっかりと取組み報告して欲しい。

○ 学校評価

- ・新学指導要領への対応に向けた教育課程編成等の課題等について。
- ・授業研究プロジェクトを中心にした研究協議の取組みについて。
- ・生徒の家庭学習時間の達成度は不十分だった。

意見

- ・中学生では教えあいが大切である。高校生も、学習を皆で共有することができるのではないか。
- ・家庭学習と塾の関係や宿題や課題を提出できずに休んでしまう生徒の存在等も問題である。
- ・自ら勉強しようとする自発的な取組みは、やらなければという意識、やらされている感から脱却させるための環境をつくっていくことが大事ではないか。
- ・探究の時間を活用し、学習の喜びを会得させる。
- ・仲間と共に学ぶ機会を設けるためにも、自習室は重要ではないか。

○ グランドデザインについて

意見

- ・昨年度に比べ、横文字が少なくすっきりして、解りやすくなった。

学校評価部会

開催日：平成 31 年 3 月 5 日(火)
時間：16 時～16 時 30 分
場所：深沢高等学校会議室
司会：村山総括教諭

出席委員：池田委員、福島委員、露木委員、嶋村委員、瀬谷委員、堀井委員、土田委員、石川委員

○ 各部会からの報告

- 教育課程 →新カリキュラムへの対応、授業改善プロジェクトは全体として良かった。学習の時間は具体的な取り組みを行っていききたい。
- 進路 →業者テストの意義を考えさせ、生徒の意識向上を図っていききたい。インターンシップでの生徒の評価は概ね良好である。ただ「やらされている感」があるので、しっかりと指導していききたい。1年生への新テストの情報をどんどん共有していききたい。
- 地域協力 →一定の評価をもらっている。「やらされている感」があり、もっと自発的にやっていければいい。
- 生徒会 →部活動加入率は 80%を切ったが、来年度も 80%を目指したい。学校行事について生徒の振り返りでは概ね評価が高いので、来年度も引き続き生徒主体で行っていききたい。図書館の利用者は増加している。利用状況をより活発にしていきたい。

生徒相談 →スクールカウンセラーの拠点校である。要望のある生徒にすべて対応している。相談件数は増えているが、それだけ環境が整っているという状況の現れである。

学校管理 →コンプライアンスのため事故防止に努めた。防災訓練、Dig,HUG、津波警報が出た時の対応などを行った。特に宿泊訓練は地域からもいい評価をいただいている。また、他県からの視察もあった。1年生の修学旅行は被災地に赴くので、つながっていけばいい。

○学校評価

意見

<教育課程>

- ・2022年度新指導要領の実施に向け、このまま定期的に十分な理解を図ってもらいたい。また外部の研修も活用してもらいたい。
- ・授業改善の取組については評価したい。今後も粘り強く続けてもらいたい。
- ・学習時間増加に向けては、学びの喜び、目的意識をもちらせるなど、知恵を出してもらいたい。

<生徒支援>

- ・部活動加入率78%は、ほぼ目標が達成されていると考える。行事について、今後も継続的に行って欲しい。別紙（委員持参の新聞記事）のように生徒のニーズが多様化している。参考になればと持参した。
- ・図書館利用増加については努力されている結果だと思う。引き続きよろしくお願ひしたい。
- ・相談件数の増加を心配したが、相談相手がいるという観点からは良い。

<進路指導>

- ・夏季休業中の補習など、今後も充実させて行って欲しい。
- ・職員室前に長机、椅子を並べてほしい。質問する生徒は多い。
- ・新入試について1年生は非常に心配していると思うので、引き続き説明会の開催や情報提供を行って欲しい。
- ・2022年度の成人年齢引き下げに伴い、消費者教育等必要な啓発の充実を図って欲しい。

<学校管理>

- ・修学旅行における被災地実地研修は今後も継続して欲しい。
- ・HPの更新48回は評価したい。ぜひ続けて行って欲しい。

<その他・全体>

- ・保護者との連携をPTA活動を通して図ってほしい。保護者向けの講演会や研修会を実施してみてもどうか。
- ・職員の職務環境の整備や研修の充実を図ってもらいたい。
- ・職員室に生徒が質問等にきた時、気軽に相談ができるよう職員室前に長机を置くなどして欲しい。様々なことに役立つと思う。

○ グランドデザインについて

意見

- ・理解しやすくなった。

○事務局からの連絡

- ・委員の任期は2年なので、来年度もよろしくお願いします。
- ・新年度に入ってから、来年度1回目の案内をします。

閉会（福島副委員長）

- ・謝辞
- ・今年度の学校運営協議会における具体的で現実性のある提案を、今後の学校運営に活かしていただきたい。



以上